

**平成30年度学都仙台コンソーシアムサテライトキャンパス公開講座(前期)**  
**開講科目概要**

開講日時 (全て土曜日)		講座名 ◎講師名	概要	費用	定員	実施大学
6月2日	10:30 ～ 12:00	最期をどう過ごすかを考える ◎宮下真子	自分だったら、家族だったら最期をどう迎えたいでしょうか。そのためには家族としてどうしたら、または自分自身がどうしたら良いのでしょうか。日本における看取りの現状と照らし合わせ、一緒に考えたいと思います。最期をどう過ごすのか、死を忌み嫌ったり避けたりするのではなく、死に向き合うことで生きることを意味を再確認する機会となることを願っております。	無料	80名 (先着)	東北文化学園大学
6月2日	13:00 ～ 14:30	あなたの血管は何歳？ —地球の上での日本人の血管 ◎山家智之	あなたの血管は何歳＝世界の中のあなたの血管人は血管と供に老いる。と、言われます。東北大学には、日本でただ一つの「大学院医工学研究科」が設置されており、様々な医療機器、診断・治療システム開発が進められています。現在、広く応用されている「管年齢」を計測する機器も東北大で開発されています。実は、日本人は、世界の中で、最も動脈硬化が少ない民族の一つと言われてきました。しかしながら疾病構造も日々変化しています。皆さん、一緒に考えてみましょう。	無料	80名 (先着)	東北大学
6月2日	15:00 ～ 16:30	政治のなかの憲法 ◎片山文雄	日本国憲法を変えよう、という意見が強まっています。とくに政治家の声が大きくなっています。憲法をどう変えると、どうなるのでしょうか。それを考えるためには、まず、政治のなかで憲法が担っている役割をきちんと知らなければいけません。政治思想・政治理論の立場から、できるだけ基本の基本から、考えてみましょう。	無料	80名 (先着)	東北工業大学
6月9日	13:00 ～ 14:30	「高齢化社会と健康ライフ」 ①老化の摂理を学び、健やかに老いる！ ◎佐直 信彦	健やかな老いを享受するためには、老化の生物学的意義、老化現象の宿命を知ることが大事だと思います。健康老人は生涯活動的です。その対応は「生活習慣病の予防と、不活発な生活様式からくる廃用現象の予防と健康運動」であるという結論を述べたい。個人的なことですが、小生も既に後期高齢者に仲間入りし、老化現象の理知的な理解から、実感としての理解が可能になりました。そして、歳をとるのも悪くはないという感慨が一面にあります。	無料	80名 (先着)	仙台青葉学院短期大学
6月9日	15:00 ～ 16:30	「高齢化社会と健康ライフ」 ②サルコペニア(筋肉量・筋力・身体機能の減少)を考える！ ◎三浦 雅史	「サルコペニア」。少し聞き慣れない言葉かもしれませんが、単に筋肉が減ったり、筋力が低下することだけに留まりません。日常生活、例えば、立ったり、座ったり、歩いたりといった身体機能そのものを大きく変えてしまう可能性があります。本講座では、サルコペニアを恐れるのではなく、しっかりと理解し、立ち向かう術(すべ)をお話しします。さらに、今日からでもできる予防運動と一緒に実践したいと思っています。	無料	80名 (先着)	仙台青葉学院短期大学
6月16日	10:30 ～ 12:00	新しい脂質栄養学 ～本当に脂質は悪者ですか？～ ◎大久保剛	青魚に豊富に含まれているドコサヘキサエン酸(DHA)やエイコサペンタエン酸(EPA)という脂質は、頭が良くなるということで広く知られています。しかし、最近の研究では、それ以外にも様々な機能が明らかになってきています。つまり、脂質栄養学は、既に解明された古いテーマではなく、これからの研究分野の1つと言えます。今回は、こんな古くて新しい脂質栄養学について触れてみたいと思います。	無料	70名 (先着)	仙台白百合女子大学

開講日時 (全て土曜日)		講座名 ◎講師名	概要	費用	定員	実施大学
6月23日	10:30 ～ 12:00	戦後の我が国の航空機産業の発展と現状 ◎福永 晶彦	戦後の我が国の航空機産業はほかの先進国と比較して小規模である。しかし、現在その発展は経済的にだけでなく防衛面からも期待されている。また、戦後の我が国は防衛・民間双方の航空機(固定翼・ヘリコプタ)の国産開発を行っていることは意外と知られていない。そこで本講座においては我が国の戦後の航空機開発と航空機産業の歴史を考察し、そこから学べることや航空機産業の将来あるべき姿などを考察していきたい。	無料	60名 (先着)	宮城大学
6月23日	13:00 ～ 14:30	作家と食べもの ◎大本泉	マクロビオティックの実践者だった平塚らいてう、庄内の食べものをこよなく愛した藤沢周平……。作家の食べものへのこだわりから、作家とその家族関係や文学の特徴が見えてきます。本講座では、ちょっとせつなくて、おいしいお話を皆様とともに味わいたいと思います。	無料	40名 (先着)	仙台白百合女子大学
6月30日	10:30 ～ 12:00	震災後のエネルギーと環境 ◎村松淳司	東日本大震災前後のエネルギーと環境の変化と現状について概説します。エネルギー供給について、世界と日本を対比させて日本の問題点を話します。その上で、再生可能エネルギー利用のメリットデメリット、今後の展望を、化石エネルギーとの対比から、温暖化ガスである二酸化炭素排出量の観点も含めて、考えていきましょう。そして最後に東北ならではのエネルギー源として注目されている地熱に焦点を当て、開発の現状と将来について考えましょう。	無料	80名 (先着)	東北大学
7月7日	10:30 ～ 12:00	アジア民族顔の起源—日本人のゲノム解析から伺える東洋人の顔立ち— ◎森敏美	広義的に言うアジア人の範囲は広大であり、コーカソイド(広義の白人)、オーストラロイド(タミル人等)、モンゴロイド(黄色人種、東洋人)等、住むだけでなく、民族的・文化的にも多種多様です。アジア人の定義は定かではなく、一般的にアジア系民族の中でも東洋人といわれる中国、朝鮮半島、日本等の人々はいわゆるモンゴロイド系が多数を占めます。今回の講座では遺伝子レベルで東洋人の顔立ちや、起源を推測してみます。	無料	40名 (先着)	東北生活文化大学
7月7日	13:00 ～ 16:30	漢詩ゆったり鑑賞講座 ◎島森哲男	漢詩をじっくり、ゆっくり味わってみたいけれど、本を読んでも自分で考えてみてもどうも難しく手掛かりがつかめない、という人のために、いくつかの漢詩をわかりやすく解説しながら、一字一句、ゆったりと味わってみたい。そしてそれぞれの漢詩の奥にある人々の思いや生活の起状、時代背景などに分け入り、また自分の人生体験とも重ねながら、漢詩を深く味わう方法をみんなとともに探してみたい。また漢詩の奥にある中国の文化や歴史にも触れる機会としたい。	無料	80名 (先着)	宮城教育大学
7月14日	13:00 ～ 16:30	漢詩ゆったり鑑賞講座 ◎島森哲男	漢詩をじっくり、ゆっくり味わってみたいけれど、本を読んでも自分で考えてみてもどうも難しく手掛かりがつかめない、という人のために、いくつかの漢詩をわかりやすく解説しながら、一字一句、ゆったりと味わってみたい。そしてそれぞれの漢詩の奥にある人々の思いや生活の起状、時代背景などに分け入り、また自分の人生体験とも重ねながら、漢詩を深く味わう方法をみんなとともに探してみたい。また漢詩の奥にある中国の文化や歴史にも触れる機会としたい。	無料	80名 (先着)	宮城教育大学
7月21日	10:30 ～ 12:00	『夜と霧』に学ぶ“生きる意味” ◎加藤 美紀	“生きる意味”とは何か——。人間の根源的問いを生涯探求しつづけた精神科医V.E.フランクルが、ユダヤ人強制収容所から奇跡的に生還した体験を綴った『夜と霧』は、今も世界中で読み継がれる不朽の名作です。この講座では『夜と霧』を読み解く鍵となるエピソードを取り上げ、フランクルの生涯とその思想について解説します。人はいかにして絶望の闇の果てに「それでも人生にYESと言う」ことができるのか、希望のありかをご一緒に探りましょう。	無料	70名 (先着)	仙台白百合女子大学

開講日時 (全て土曜日)		講座名 ◎講師名	概要	費用	定員	実施大学
7月21日	13:00 ～ 14:30	食産業におけるバイオマスの利活用 ー廃棄物を肥料、エネルギー、プラスチックにー ◎柳澤 満則	バイオマスは、化石燃料の代替となる再生可能資源であり、食産業で排出される農業残渣、食品加工残渣、水産加工残渣等の多くの廃棄物もバイオマスである。これらの廃棄物をバイオマス資源として肥料、エネルギー、プラスチック等に変換して利活用することができれば、限りある化石燃料の使用量を減らすことが可能である。本講座では、食産業で排出される廃棄物を食産業で利活用していく方法について具体的に提案する。	無料	60名 (先着)	宮城大学
7月21日	15:00 ～ 16:30	ユニバーサルデザインみんなの暮らしを快適にー ◎橋本 陽介	社会の中には、子どもから高齢者まで幅広い年齢の人々が暮らしています。その他にも、障害の有無や性別、国籍、利き手…。様々な違いを持つ人々が暮らす社会の中で、みんなが快適に暮らすためには、なにが必要でしょうか。そのような問いを追求するのが”ユニバーサルデザイン”です。本講座では、身近にある”ユニバーサルデザイン”を取り上げながら、ユニバーサルデザインの基本を紹介します。その上で、受講者の皆さんと一緒に、ユニバーサルデザインを考えていきたいと思ひます。	無料	60名 (先着)	宮城大学
7月28日	10:30 ～ 12:00	声でわかる のどの病気と健康 ◎石毛美代子	声が「出しにくい」「低くなった」「長く話すと嚙れる」といった不調の原因は、手術や薬が必要な喉の病気であることもあるが、音声酷使、発声法、加齢、喫煙、乾燥など日常の心がけや行動により改善・予防が期待できるものも少なくない。声帯は1秒間に100回以上振動することにより声を作る。高速での振動に必要な声帯の柔らかさ、しなやかさ、さらには喉の健康を保つための「声の衛生」を中心に、病院で行われている声の検査や治療についてわかりやすく解説する。	無料	80名 (先着)	東北文化学園大学
7月28日	13:00 ～ 14:30	「夏の怪談教室～怪異と幻想の日本文学vol.3」 (1)「われこそは玉梓が怨霊」—『南総里見八犬伝』と怪異— ◎石川秀巳	『里見八犬伝』は、人間のお姫様と飼い犬との間に「誕生した」里見八犬士の活躍を語る、大長編伝奇小説です。物語の基本構想に関わるそうした異常出生は、妖婦玉梓の呪いの結果と見なされてきました。が、その点について、初刊当初から疑問が出されてもいたのです。八犬士ははたして呪いの子であったのか。『八犬伝』における人倫／怨霊のせめぎ合いを腑分けしてみましょう。	無料	80名 (先着)	宮城学院女子大学
7月28日	15:00 ～ 16:30	「夏の怪談教室～怪異と幻想の日本文学vol.3」 (2)「江戸怪談の魅力と深層」 ◎深澤昌夫	江戸時代、不思議な話を語り合い、不思議なものを描くことが流行します。江戸時代ぐらい、怪談が流行った時代はありません。今回は「江戸特集」ということで、怪談文学の傑作『雨月物語』や『牡丹灯籠』などを中心に、どこがどう面白いのか、どこがどう怖いのか、その仕掛けや工夫、描写力に注目して江戸怪談の魅力に迫りたいと思ひます。	無料	80名 (先着)	宮城学院女子大学